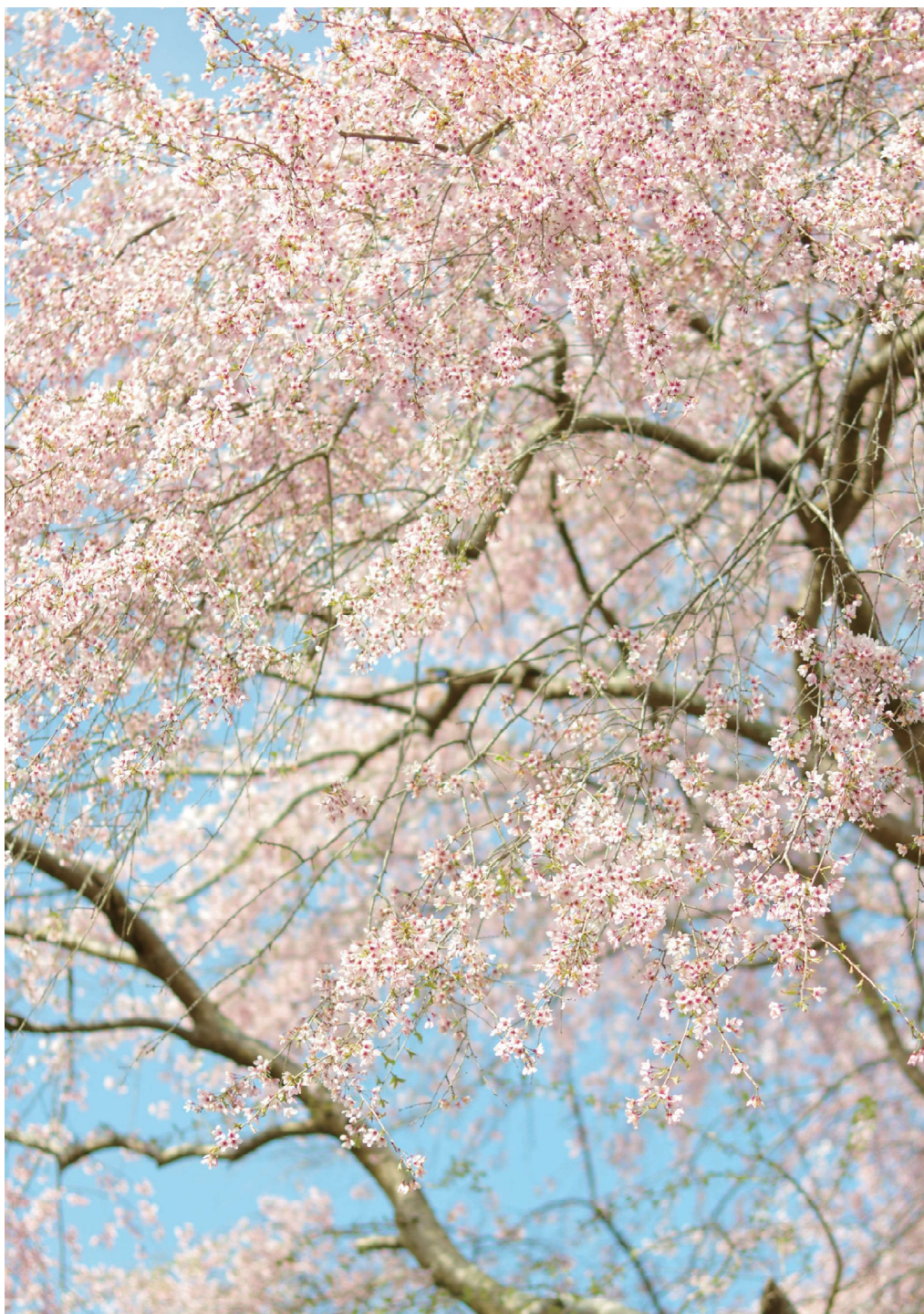


里都まち♥なかい



神奈川県
中井町

SATOMACHI

NAKAI BOOK

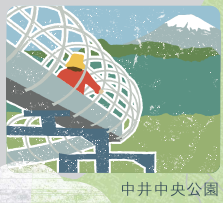
2024

さと 里都まち♡なかい

自然豊かな「里山」と、便利で機能的な「都市生活」。

- ・東経：139度 13分 08秒
- ・北緯：35度 19分 51秒
- ・町の面積：19.99km²
- ・標高：42m（町役場地点）
- ・海拔：33~323m

- 公園・休憩所
- 神社
- 寺院
- 史跡・天然記念物
- 小・中学校
- 郵便局
- 病院・医院・クリニック



中井中央公園



町の花：キキョウ



里

中井町は、神奈川県南西部に位置し、県内の市町村の中で10番目に小さい町です。

- ・人口：9,069人
- ・100歳以上の人口：13人
- ・世帯数：3,441世帯
- ・世帯当たりの人数：2.64人
- ・外国人住民数：401人
- ・文化財の数：24件
- ・天然記念物の槐（えんじゅ）：樹齢800年（推定）

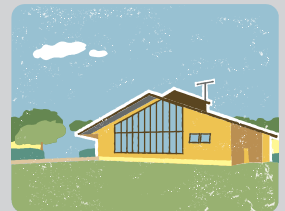


町の鳥：シラサギ

都

町の北部に東名高速道路秦野中井インターチェンジが開設されており、東京都心から車で約1時間弱（65キロメートル圏内）の距離にあります。

- ・1人あたりの都市公園面積：17.6㎡
- ・水道料金：660円
- ・* 家庭用基本料金1ヵ月(10㎡)



なかい里都まち CAFE

ま

北に丹沢山地、西には富士山を仰ぎることができます。また、南側に望む相模湾の影響を直接受けるため、冬は暖かく、夏は涼しい暮らしやすい気候です。

- ・最高気温：37.4℃
- ・最低気温：-2.3℃
- ・平均気温：16.6℃
- ・平均湿度：68.5%
- ・降水量：1628.5mm

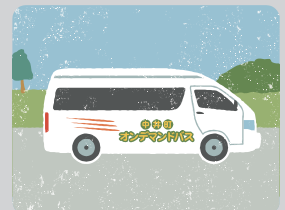


ハートの丘

ち

子育て政策に力を入れているのも特徴で、妊娠期から出産、子育てまで切れ目のない総合的な支援を行っています。

- ・結婚：5日に1組
- ・出生：11.8日に1人
- ・待機児童数：0人
- ・教員数：子ども園児5人に1人
小学校児童10.5人に1人
中学校生徒9.5人に1人



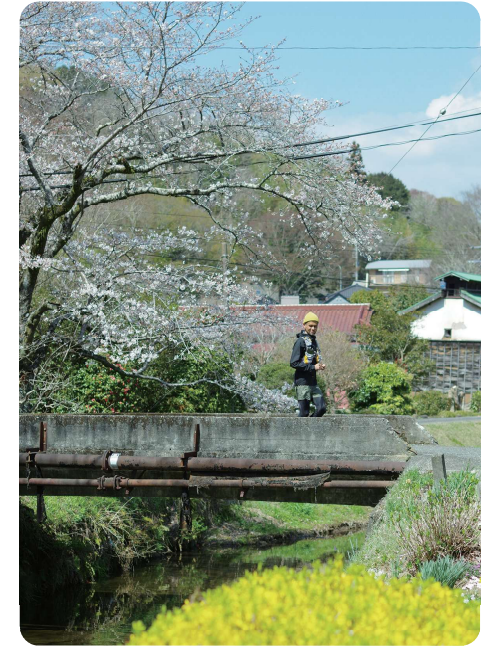
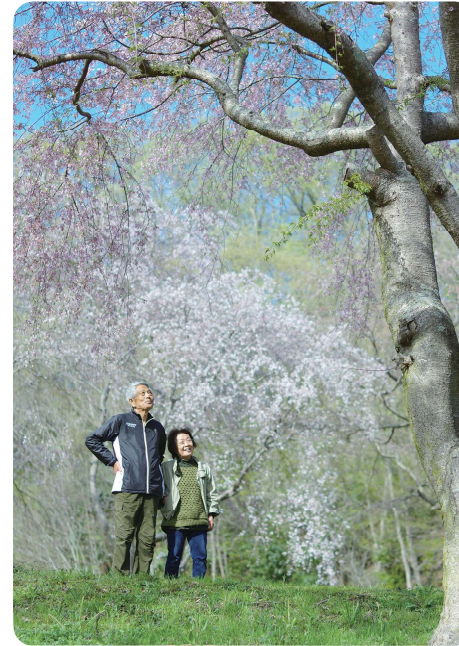
中井ふれあいバス



町の木：キンモクセイ

暮らす楽しみ 生きる幸せ

三者三様の中井暮らし。
ちょうどいい、ちょっといい、「豊かさ」考。



なかいめぐり主宰
盆栽家
トマト農家

竹内 哲也 さん
山口 一男 さん
山口 千春 さん

竹内 哲也さんの里都まち LIFE

竹内さんは、衣類メーカーで働く会社員。コロナ禍に中井町に移住し、週の大半を自宅からリモート出勤で働くかたわら、SNSで中井町の魅力を伝える「なかいめぐり」を主宰して活動しています。

アウトドアが大好きな竹内さんは、仕事の休憩時間になると近所をジョギングするのが日課。時には出勤前にサーフィンにでかけることも。

週末には自宅から徒歩で行ける「宮川酒店」で、店主の宮川さんや常連客と楽しいひと時を過ごします。ここでは、地域のために色々な活動をしている仲間が集まります。竹内さんは「自分の仕事で培った能力を生かして仲間の活動を応援するの、僕もやりたいことのひとつ」と、新たなやりがいに目を輝かせていました。



【写真】上左：仕事前に磯町の大磯海岸でサーフィン 右上：自宅でリモートワーク 右中・下：週末は宮川酒店に集合！ 右頁上右：仕事の休憩中にランニングが日課

「なかいめぐり」
Instagramアカウント
@nakai_meguri



山口 一男さんの里都まち LIFE

「盆栽のおかげで全国から、大学生や若い人たちが盆栽を見たいと、ここまでわざわざやってくるんだよ」と、自宅電話す山口さん。山口さんの作品は国風盆栽展に10回連続で入選している植物が、「貴重盆栽」として4本登録されています。ほか、「貴重盆子」などもあった」という盆栽一筋で面倒見のよい人柄に、全国から若い人たちが中井町の山口さんの自宅に通い始めるようになりました。山口さんは、中井町は、水、風、日照条件と本当に盆栽にいい環境。人間もこういうところで育つといいと思う」と話します。

また、山口さんが平成6年に日本三大桜のひとつとして知られる福島県の「三春の滝桜」保存会会長から実生苗木を譲り受けて育てた紅枝垂れ桜は、今では見事に咲き誇り、「まつもと滝桜」と呼ばれ親しまれています。



【写真】上左：滝桜と一緒に育ててきた兄弟のような山口幹雄さんと 右左：「貴重盆栽」は、芸術性に優れ、樹形や樹種の学術的価値が高い盆栽 右頁上左：まつもと滝桜にて、妻の玲子さんと

山口 千春さんの里都まち LIFE

「中井の人たちはみんな優しくして、知り合いも増えて」と話す山口千春さん。元々は、トマトの栽培に興味があり中井の農家さんにアルバイトに来ていたそう。そこで良縁に恵まれ、そのまま隣町から嫁いできました。

山口さん夫婦の育てたトマトは「山口トマト」という名前で、中井町認証ブランドにも選ばれています。いつも明るく元気で屈託のない千春さんは、そんな山口トマトの広告塔的存在です。

プライベートでは、息子の保育園の保護者会の会長としても活躍。また、町主催の「なかいファンミーティング」にも参加し、メンバーと一緒に町のシティアロモーションを考えました。千春さんは「今後はまちの魅力も伝えていきたい」と、まさに中井町での「里都まちライフ」を目標一杯楽しんでいる様子でした。



【写真】上左：卸し先でも「山口さん登場です！」と声がかかるほどの人気者 右左：早朝から袋詰め 右中：保育園のふれあい祭りで園長先生と記念のツーショット 右下：なかいファンミーティングで作った写真集 右頁下：丹精込めて育てたトマトを丁寧に並べる千春さん

なかいファンミーティング
フォトブック「日目の詩」
PDF版



なかい中央公園
里都まちカフェ

中井中央公園内にある、里都まち交流拠点「なかい里都まちカフェ」は、カフェスペースや中井町認証ブランドをはじめとする特産品の販売、プロモーションイベントへの協力など様々な活動を行っています。

平日の朝にはカフェに協力する地元農家で構成された「ベジタブルサポーター」の皆さんが、収穫した野菜を納品に訪れます。農家直送の新鮮な野菜を目当てに、近隣の市町村からも人が集まります。

カフェでは、この野菜をたっぷり使用した季節のメニューや、隣接する里都まちキッチンのピザ窯で中井産野菜を使ったピザ作りなど、食や体験を通して、観光客や町民へ中井の魅力を発信しています。



隣接する「中井中央公園遊びの広場」と「里都まちキッチン」。里都まちキッチンでは無料でピザ窯体験ができます。

ベジタブルサポーターの農家の方が自ら野菜を棚に並べます。カフェの調理スタッフは、そこから野菜を選んで料理に使用しています。

なかいの逸品、
太鼓判！



中井町では、町の魅力を、お伝えするため、ブランドコンセプトに合った優れたものを、町が推奨する里都まち（さとまち）なかいブランド「なかいの逸品、太鼓判！」として認証しています。

ブランド認証
商品紹介ページ



みかん讃歌みかんラーメン
有限会社川口製粉製麺



ほんぼん麺
有限会社金子製麺



中井町産
湘南オリーブ オリーブオイル
株式会社ファームビレッジ湘南



山口トマトの彩りトマト
山口トマト



そのまんま緑(あお)みかん
有限会社ジョイファーム小田原



緑(あお)みかんシロップ
有限会社ジョイファーム小田原



中井麦酒
厳島ジンジャー(神社)ビア
宮川酒店



みかん讃歌
大津みかんジュース
金子さんの柑橘



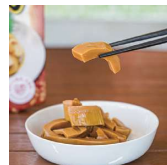
ごめ油とおからのマドレーヌ
BISCO'S



小生姜の佃煮おかず
マルハン食品株式会社



足柄ポッキン漬
マルハン食品株式会社



中井の真竹の子
マルハン食品株式会社



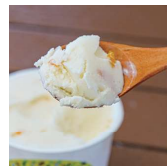
土からこだわった
100%CARROT JUICE
翠の丘農園



燐めき釉薬陶芸作品
有限会社高田プロジェクト



中井スイーツ
きんかんジェラート
合同会社なかなか郷



中井スイーツ
ジンジャーゼラート
合同会社なかなか郷

Nakai On-demand Bus



買物や通院、通学や習い事など、生活に溶け込んだ利用をされています。



中井町オンデマンドバス
「中井ふれあいバス」ページ



子育て支援センター
フォトニュース

町民だけでなく、登録さえすれば誰でも利用できるのが中井町オンデマンドバスです。時刻表やルートは決まっておらず、利用者の方が乗りたい時間に町内外120か所のバス停からバス停まで自由に移動ができる乗り合いバスです。交通空白地域の解消だけでなく、町の魅力を高めることを目的に2013年に運行を開始したオンデマンドバスは11年目を迎えました。

現在、3千名を超える方が登録されており、1日の予約数は約30件、1年では約7千件と、移動の手段を持たない高齢者の買い物や通院、小中学生の通学手段など、多くの方の日常生活の交通手段として活躍しています。

65歳以上のおよび妊産婦の方を対象にご自宅付近で降車できる、希望降車ポイント制度を開始するなど、さらなる利便性向上にも取り組んでいます。

少子高齢化の進展するなか、利用者のニーズに応えながら、利用者とともにさらに便利なオンデマンドバスを目指します。

オンデマンドバス

Childcare Support Center



子育てをより豊かに、そして子どもを取り巻くすべての人が一人ひとり輝けるように、みんなで集い過ごせるセンターを目指しています。

アットホームな雰囲気の中で、妊娠中の方、子育て中の方が気兼ねなく利用できる施設です。

「子育てアドバイザー」によるお悩み相談のほか、着られなくなった服の「リサイクルコーナー」や、四季を感じながらのフラワーアレンジメント、地域の子育てサークルと交流できる焼き芋や餅つきなどの行事も行っています。

また、利用者の声から始めた、「骨盤体操」など、保護者の方がリフレッシュできる講習会も開催しています。

広い園庭には遊具や砂場、室内には冷房、床暖房、子ども用トイレ、調乳室やベビーベッドが完備されています。



親子で、のびのび楽しい時間を過ごせるセンターです。

里都まちで、子育て支援センター

中井町は
子育てのサポートが
いっぱい!



中井町
公式キャラクター
「なかまる」

MY NEUVOLA STORY

私のネウボラストーリー

妊婦さんやお母さんに寄り添い、信頼関係を大切にしています。



My Neuvola Story
田中 友理香さん
杏ちゃん

中井町に移住して来てすぐに分かった妊娠。この町で助産師の田中さんに出会えたことが何よりもラッキーでした。母親教室での手作りのあたたかい教材はお産の道標に、ポジティブで力強いメッセージはお産の不安や恐怖をかき消し、ワクワクや楽しみへと変える大きな大きなエネルギーになりました。お産までの道のりだけでなく、その後もずっと側で伴走して下さっているような心強さ、安心感がありました。今豊かな自然とあたたかい人たちに囲まれ、喜びと幸せに満ちた心穏やかな日々を送れているのも、幸せな妊婦生活やお産の経験、出産後も皆さんに母子まるごと大切にいただいた時間があったからだと、心から感謝しています。

最初は日本語がわからなかったのですが、ネウボラに行くのは楽しみでした。田中さん（助産師）が親切だし、熱心だし、気配りをしてくれて、困らなくなりました。心配も減りました。妊娠の時から色々手伝ってくれ、自宅訪問も、田中さんが好きだったので、お願いしました。産後も、予防接種など色々教えてくれました。日本語がまだ話せなくて、病院への1か月健診の予約の電話をしてくれました。日本で妊娠、出産をするのは不安でしたが、困った時に田中さんがいてくれたので安心でした。



My Neuvola Story
ドアンティタおさん
チュミティエンちゃん



里都まち♡なかいネウボラチーム
ネウボラフォトニュースはこちら

neuvola 妊娠や出産・産後について 私たちにご相談ください

Satomachi
Nakai
NEUVOLA

「ネウボラ」とは、妊娠・出産から子育て期までの母子保健と子育て支援が一体となったサービスです。里都まち♡なかいネウボラは関係課へつなぎながら、ワンストップによる切れ目のないサポート体制を実現しています。

妊娠中

妊婦届

ネウボラ相談室（個室）でゆったり面談。一人ひとりに応じた妊娠期ケアプランを作成し*妊婦健診補助券94,000円分もお渡しします。
※1トータルで105,000円分を支給します（神奈川県トップクラスの補助額です）。

妊婦さんへ電話

妊娠16週ごろに電話しています。現在の体調や、心配・不安などの相談に応じます。

母親父親教室

産後も含め全6日行っています。外国籍の方など個別対応もしています。助産師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士が担当しています。

中期面談

妊娠26週以降にネウボラ相談室で面談。出産に向けた準備などについて一緒に確認しています。妊婦健診補助券の追加分もお渡しします。

妊婦訪問

初産婦、経産婦全員対象です。血圧測定、腹囲子宮底測定、お腹を触診し児心音の聴取や、乳房チェックも行います。また、個別に「ミニ母親教室」をすることもあります。町内で使える*紙オムツ補助券3,000円分もお渡しします。

*オムツやオムツ以外にも子育てに関するものに使えます。1歳6か月未満のお子さんを養育する世帯に、ひと月あたり3,000円分、トータル54,000円分を支給します。

中井町は、人口1万人に満たない小さな町です。出生数だけを見ると、神奈川県内でも少ない方です。
しかし、私たちにはだからこそできる「手厚さ」があります。
妊産婦さんとの信頼を深めた手厚いケアを届けることを心掛け、生活の場で寄り添い、訪問することで見えてくるものを大切にしています。
また、全てのサポートを中井町の職員が行い、さまざまな申請手続きの案内までトータル的にケアすることで、利便性の向上につながっています。
まさに、まち全体で町民のみなさんの子育てを支援しています。

産後

出生届

出生届を提出に来られた際に、新生児訪問の日程を決めます。

新生児訪問

生後2週間前後で助産師が訪問します。1か月健診の際に使える産婦健診補助券もお渡しします。ママと赤ちゃんの健康や育児の相談・アドバイスをしています。

産後ほっとステーション（中井町直営の母子のデイケア）

産後1か月健診を終え、3~4か月健診前までの母子が対象です。月2回行われ、助産師がファシリテーターとなり、輪になってみんなでお話をしたり、体操をしたりしています。赤ちゃんの体重も測り、母乳やミルクの相談にも応じます。助産師、保健師、保育士の他に、民生委員が参加することもあり、地域でのつながりも大切にしています。参加されてママ同士の交流を楽しんでいる方も多いです。

離乳食講習会

生後4~8か月のお子さんとその保護者を対象に、調理実習を通じて離乳食の不安や悩みにお答えします。

育児相談

お子さんの発育発達や育児に関する相談と妊娠期と産後のママの健康相談を受けています。

移住・定住推進事業補助金

中井町では、移住・定住人口の増加及び地域の活性化を図るため、子育て・若年夫婦世帯による住宅取得の費用の一部を補助します。

こだまする暮らし

緑のやすらぎ都市のにぎわい

中井町では「緑のやすらぎ」を維持した「都市のにぎわい」のある暮らしを目指し、住宅供給地と商業機能をあわせもった利便性の高い市街地空間の形成を図っています。

町外から移住された数間直也さんは「同じく移住してきた近所の方もみんなライズモール（商業施設）があったことは移住の決め手になったと話していますが、中井にないものは近隣で補えるし、逆に中井でしかできない暮らしを楽しんでいます。豊かな自然に囲まれているのに、子ども園が家の目の前にあるなんて都会ではありえないですから。」と話します。

そんな数間さんが紹介してくれた、近所のパン屋さん「コパン」



数間さん(左)と、佐々木さん。

を営む佐々木祥子さんも、Uターンで中井に戻り新たに開発された住宅地の中に住居兼店舗を構えられたひとり。佐々木さんは「最初は住宅街なので集客が心配だったけど、まわりの方に支えていただいています」と話し、移り住まれてきた方たちの暮らしから新たな「にぎわい」が生まれています。



新築が立ち並ぶ新しい住宅地(左)。斜め向かいには、なかいこども園(中)があり、さらにその隣に井ノ口小学校(右)がある。

未病センター・なかい健康づくりステーション

「未病センター・なかい健康づくりステーション」では、バーチャルサイクリングと、バーチャルトレッドミルを導入しました。どちらも、中井の風景を撮影したコースを画面で楽しむことができます。

バーチャルスポーツは若い世代だけでなく、高齢者にとっても安全なスポーツ環境なことから、幅広い世代が健康づくりステーションに足を運んでいます。

また、オンラインでつながっているため、世界中の利用者が中井のコースを楽しむことで中井町を知ってもらいきっかけをつくることもできるのも特徴です。

健康づくりステーションには、その他にもバランスブレードや、脳年齢測定器、血圧測定器などの健康管理器具などが揃い、気軽に運動を継続しやすく未病を改善できる施設です。

未病センター・なかい健康づくりステーション

バーチャルトレッドミル3台、バーチャルサイクリング3台、バランスブレード3台、血圧、脈拍測定、体組成測定(体重・体脂肪率・筋肉量・推定骨量・基礎代謝量など)、脳年齢測定、体力測定(握力・長座体前屈・片足立ちなど) 他



数間さんの散歩コース。行きつけのお店で立ち話や、ふいに新しい風景を発見することも。



「普段はバーチャルサイクリングをした後に中井中央公園を走っています。急な雨の日は、トレッドミルを利用して運動しています。」

厳島湿生公園の 生物多様性

厳島湿生公園として整備した場所は、昔から地域で「弁天さん」として親しんでいた厳島神社が中央の浮島にあり、「厳島神社と鏡」など町の昔話として今に伝えられています。



くらしのそばの みんなの自然

「厳島湿生公園」ができるまで

Point 1

湧水が湧き出る
良好な湿地帯を再生

自然環境にふさわしい
湿地帯を再形成



整備前のイメージボード

カササゲ



カルガモ



サワガニ



ホトケドジョウ(絶滅危惧ⅠB類)

「自然環境保全地域」に指定されています。

厳島湿生公園は、湧水を水源とする湿地帯で、さまざまな動植物が生育・生息し、神奈川県による

Point 3

動植物への影響を
極力小さく

仮植や避難場所の確保など
動植物への配慮



ハイサギ



カントウタンポポコウゼミ

Point 2

住民参加
協働で整備と保全

歴史・文化を反映し
地域の自然環境を再生

この場所は、もともと江戸時代よりも前からあったと言われているほど古い田んぼで、何組かの農家がお米を育てていました。農作業につれてきた赤ん坊を厳島神社のところで寝かせていたり、夏になると子どもたちがせき止めた川で泳いだりしていました。お米をつために順番で使う「番ぐるま」と呼ばれる水車もあり、昭和30年頃までは「バタン、バタン」とお米をつく音が響いていました。ここでとれたお米は冷たい湧き水のおかげで、とてもおいしかったです。

地域の方がオブジェを手作り



ヒガンバナ



ホシムシトナボ



ホタルブクロ



カマキリ



アブラハヤ(準絶滅危惧)



カワニナ



ニホンアマガエル



Point 4

住民・利用者が
楽しく利用

余暇活動や環境教育の場
町内外の人々の交流拠点

自然で遊びながら環境学習



厳島湿生公園 竹灯笼の夕べ実行委員会
会長 尾上文男さん



昔の厳島神社



厳島湿生公園 竹灯笼の夕べ



厳島湿生公園



ツユクサ

2024
NAKAI TOWN
ADMINISTRATIVE
HANDBOOK

